



特定非営利活動法人 山崎・谷戸の会  
会報 第118号 2023年11月5日発行

本会は、鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観と多彩な動植物を保全するため、市民活動を実践していたメンバーが中心となり、行政との協働で立ち上げたものです。

# 4年ぶりの炊き出しですよ!



10/15 稲刈り

農作物はいずれも天気次第で、豊作もあれば不作もあり、空を見上げて一喜一慕。谷戸まつりで今秋はどんなおいしいごちそうが提供できるか、お楽しみに。体験コーナーも販売コーナーもますます充実してきましたよ。

## お知らせ

### 第41回 秋の谷戸まつり

11/26(日) 10:00~13:00

場所: 野外生活体験広場(荒天中止)

販売(新米・紙芝居・絵葉書)

体験(正月飾り作り・ノコギリ体験)

炊き出し(もち・谷戸鍋・おにぎり・ふかし芋)

お椀とお箸を  
ご持参ください!



### 第25回かまくら市民活動フェスティバル

12/2(土) 12/3(日) 場所: きらら鎌倉

関東大震災から100年を迎え防災に備えた市民活動を考えます。



ガマズミ



●遅くやってきた秋

猛暑の影響か、ヒガンバナ、キンモクセイなど秋の花が咲くのが遅れました。8月にやってくるはずのウスバキトンボ（赤トンボと間違えている人が多い）の群れが夏には見られず、10月になってアキアカネ（本当の赤トンボ）と混じって飛んでいました。

●猛暑と水不足の影響

ナガコガネグモ

イネ、サツマイモといった谷戸の作物が例年の8割から半分以下の収穫量になってしまいました。秋の野草が咲く季節ですが、7月に草刈りをした後の生長が悪く、ツリガネニンジン（ツリガネニンジン）は貧弱なまま花をつけました。植物の種類も変化が起きていてカヤツリグサなどが見られない反面、ヤブガラシ、メヒシバ類など一部の草は異常に繁茂しています。イナゴやカマキリ、キリギリス類が少なく感じます。田んぼに多いクモ、ナガコガネグモの網がほとんど見つからないのが心配です。



●30年ぶりに戻ってきた野鳥（セグロセキレイ）と谷戸の田んぼ

10月18日、稲刈り後の田んぼでセグロセキレイを見ました。谷戸が公園になる前は毎日のように来ていたセグロセキレイですが、公園の整備工事が始まると、よく似たハクセキレイに入れ替わってしまいました。ハクセキレイは都市化が進むと増える鳥なので、谷戸の環境の都市化が進んだ証拠とあきらめていました。セグロセキレイが30年



セグロセキレイ（目の上だけが白い）



ハクセキレイ 雄

ぶりに戻ってきたのは、谷戸の田んぼを昔のように守ってきた成果かもしれません。谷戸の田んぼには多くの野鳥が訪れます。年によっては警戒心が強いタシギという鳥が越冬したこともあり驚きました。これは、公園整備の時に、田んぼの周囲にアシなど草地を残して広場から田んぼが直接見えないようにしたことや、周辺の散策路（山側）の幅を狭くして、野鳥が安心して田んぼに下りられるよう配慮した

ことがよかったです。冬でも水が残っている谷戸田をそのまま耕作しているので、ドジョウやトンボの幼虫など、サギ類をはじめとする水鳥のエサが豊富にあります。また田んぼの畔が昔のように維持されているので、ホオジロ、カシラダカなど畔の草の実を食べる小鳥も集まります。タシギのように警戒心の強い鳥は畔の陰に身を寄せて隠れることもできます。人手が必要な谷戸田は、プロの農家では維持できないでしょう。野鳥や昆虫が寄って来る昔ながらの田んぼを維持するために、これからも当会の活動が必要です。



タシギ

田んぼ班



今年の谷戸田は、春の苗育成不良、夏の猛暑と渇水、たくさんの田の草、と苦勞が多く心配でした。それでも秋には穂が実り、無事稲刈りを終えました。青い穂が多いので、例年より収穫量は少ないようです。

雑木林管理班



大雨と台風、特に今年は9月下旬まで続いた記録的猛暑により、雑木林の生長を左右する出来事が毎年発生しています。木々の状況を確認し、今期の除間伐計画を立て、作業を進めていきます。

畑班



9月の記録的な高温少雨の影響が出ている。大根はハイマダラノメイガ(ダイコンシンクイムシ)が大発生し深刻な事態に。収穫間近のたのくろ豆やさといもも元気がない。落花生だけは少雨に強い？

10/18 さつまいもの収穫



10/22 里山探検隊(紙芝居)



自然遊び班



赤がえるがいました。おなかが大きかったのでめすだと思いました。おなかはぶにぶにしてきもちかったです。(2年) 水ろの手入れをしました。あさぶくろに土を入れ、うめたのが楽しかったです。(5年)

植物育成班



野草は定着すると長い年月生き続けますが、こぼれ種から根付くことはまれなので、会員の自宅で苗を育ててもらっています。どこが定着しやすいかを考えながら移植していくのは楽しい活動です。



10/18 野草の植え付け

農芸班



11月は味噌の原料となるたのくろ豆を、足踏み脱穀機とさいづちを使って手作業で殻出します。豆がさやから弾けたときの、パラパラという音が心地よいです。選別作業も人手が多いと助かります。

生態系保全班



カヤネズミの巣を探しましたが、確認できませんでした。長年調査してきましたが見つけれないのは初めてです。活動による影響が少なくなるような調査方法のため、見落としがあることを願っています。



## 谷戸の生きもの

ハイマダラノメイガ その節は・・・

舞岡公園をはじめとしてあちこちの“虫屋”から「昆虫が少ない」という声が聞かれる。確かに我が家でも蚊がほとんどいなくて洗濯を干す身にはありがたい（庭で干すのが日課）。なのに谷戸の大根で害虫が大発生した。“ダイコンシンクイムシ”の別名があるように、芯（生長点）に寄生して新葉を食害するので大根は育たずに枯死する。単に葉を食害するのと比べて悪辣だ。一匹ずつピンセットでつまみ出す手間も大変。😞そろって“地獄に行ってもらおう”ことにした。でもこういうことをしていると、いずれ向こうで会っちゃうかもね。

（たのくろまめお）



セスジスズメ その節は・・・

幼虫はヤブカラシやさといもの葉上でよく見かける。さといもの害虫だが枯死させるようなことはなく、夜行列車のような模様は愛らしくて憎めない。そうはいつでも害虫なので通常は駆除する（方法は想像にお任せね）。ある朝我が家の門扉に一匹の成虫がいて“まさか”の光景に驚いた。“大形の蛾”が“明るい時間”に“人が出入りする門”のしかも“取っ手横”に。😁そういえば以前駆除が忍びなくて、さといものは食べないように言い聞かせたうえでヤブカラシの葉上に逃がしたことがあった。まさかあの時の幼虫が・・・

（たのくろまめお）



門扉の成虫



さといものを食害



ヤブカラシ葉上

## 谷戸往来2

**茅ヶ崎里山公園 県公園協会職員、  
茅ヶ崎里山クラブ会員 視察 9/17(日)**

共に長く活動をする会からの視察でした。当会での田んぼを維持するための工夫をお伝えしました。

**かまくらレンジャーズ  
9/24(日)**

秋の収穫に向けて、田んぼ、畑で草刈り作業を行いました。

**深小ふれあい広場 10/28(土)**

PTA協力にて、子どもたちが縄ない、むしろ編み体験をしました。先生と5年生有志が、谷戸活動の紹介を行い、一緒に盛り上げてくれました。

**北野神社例大祭 湯立神楽 9/25(月)**

北野神社で行われている例大祭「湯立神楽」にて、当会の藁が巻藁(まさわら)として飾られました。地元の伝統文化が守られています。



**鎌倉中央公園フェスティバル  
10/29(日)**

稲わらのむしろ作りや小麦わらのしおり作りのイベントを行い、谷戸の秋をお届けしました。

## 体験学習

深沢小5年 稲刈り 10/2

★ぼくは稲刈りをしてむずかしいことがありました。それはノコギリがまの使い方です。ギコギコしちゃだめと言ってたけど、どうしてもギコギコしちゃいます。

★やっとのことで稲をしゅうかくして、その量にびっくり！運んだときに前がほとんど見えなかったくらいの量がありました！田んぼにもどればまた運び、もう一回もどればまたまた運ぶ！あの量があればおなかいっぱい！

★ぼくは稲刈りをやっておもしろいと思いました。なぜかという、のこぎり鎌で稲を「ザクザクザク」と切った感じがよかったからです。あと、稲をほす作業もきっちりならべれてスッキリしたからです。

★初めてのいねかりをして思ったことは、いつもよりもみんなと協力できたので楽しかったです！！

★谷戸歩きするとき上から見たけしきはすごくきれいできいろい海だった。えだ豆があり、それが大豆になってみそ作りをするらしくとても楽しみ。

★さいしよいねをかるのくせんしたんですが、だんだんうまくなってきて、もうどんどんかりたくなるほどたのしかったです。このかつどうであらためていのちのたいせつさというか、谷戸の人たちのとりくんでいることのたいせつさがわかりました。

★えだ豆は毎年しゅうかくさいのお味そ汁のために作っていて、私たちの食べる味そは、去年の5年生の時に作ったえだ豆(大豆)で味そを作ってお味そ汁を作るそうです。



富士塚小5年 稲刈り 9/27

★カマでいねかりは、最初はこわかったけど、すこしずつ平気になりました。〇くんが大変そうだから、はさがけてつだいました。〇くんは、かみしばいの時まで、はさがけていました。すごいです。

★「まるぎ」をする時、しっかりしぼらないと「かさかけ(はさがけ)」をしておいておくと、稲が落ちてしまうと聞きました。より良いお米になりますように。

★いねかりをしていたら、ストレス発さんできました。



★いねかりを初めてやったけど、こしがつかれた。

★もう田んぼのどろにも慣れてきて、稲をかるのも楽しかった。最後に見た稲の数もすごくうれしかった。



教育支援教室ひだまり さつまいも掘り 10/18

★おいもをほっていて、1つのおいもといもずるがつながっていて、おいももうひとつとれるかなってドキドキだった。



★ぎのうのいもほりで、ほったときと少し時間がたったときの色が、同じ物でも色が変わっていることに気づいておどろきました。ほったときは色があかむらさき(?)だったけど、30分ぐらいたったら、一部がかんそうして茶色になってきました。

★自分で収穫をしてみると、いつもスーパーなどで当たり前のようにたくさんさつまいもやその他の野菜などが並べられてるのを見ると、あんなにも大変な作業をして私達に提供してくれるのはとてもありがたいし、すごいことだなと思いました。

11月

12月

1月

3日(金・祝) 田 粃干し、粃すり、畔直し  
子育て懇談会主催

「さといもどろんこ」

5日(日) 田 粃すり、精米、わら切り  
雑 雑木林の除間伐

自 里山探検隊

「冬の谷戸しごと」

8日(水) 畑 落花生の収穫  
生 晩秋のチョウと鳥観察

11日(土) 田 粃すり、精米

12日(日) 田 粃すり、精米、わら切り ♣  
雑 雑木林の除間伐 ♣

13日(月) 畑 さといも掘り・洞入れ ♣

15日(水) 農 たのくろ豆殻出し・選別 ♣  
植 晩秋の植物観察 ♣

18日(土) 青空自主保育にこにこ会保全活動

19日(日) 田 粃すり、精米、溝切り ☆  
雑 雑木林の除間伐

20日(月) 畑 さつまいもの洞入れ

26日(日) 秋の谷戸まつり

畑 にんじんの収穫

3日(日) 田 落ち葉かき、畔直し ☆  
雑 雑木林の除間伐 ♣

かまくらレンジャーズ

4日(月) 畑 大根の収穫・洗い・干し ♣

6日(水) 生 獣のフィールドサイン ♣

10日(日) 田 粃殻くん炭 ♣

畑 土壌改善 ♣

雑 雑木林の除間伐 ☆

自 里山探検隊

「やきいも、谷戸あるき」

13日(水) 生 冬の鳥観察

17日(日) 田 粃殻くん炭、むしろ編み

雑 雑木林の除間伐 ♣

講座「正月飾り作り」☆

18日(月) 畑 落ち葉かき ☆

20日(水) 農 たくわん漬け ♣

24日(日) 雑 雑木林の除間伐

7日(日) 田 粃殻くん炭、堆肥切り返し  
雑 雑木林の調査・測定 ♣ ☆

14日(日) 田 粃殻くん炭、堆肥撒き ♣  
雑 竹の伐採

どんど焼き

15日(月) 畑 畑の整備

17日(水) 植 土手の草刈り作業

21日(日) 田 粃殻くん炭、むしろ編み ☆  
雑 間伐材整理 ♣

自 父と子の里山体験「親子で里山体験」▶

講座「雑木林の管理」☆

22日(月) 畑 荒起こし ☆

24日(水) 生 カエル産卵場所整備

28日(日) 田 粃殻くん炭、苗床耕し ♣

畑 じゃがいも畑の耕し ♣

雑 雑木林の除間伐

青空自主保育 なかよし会 保全活動

☆ 谷戸塾 ♣ 里山一日体験  
各班活動 農家風休憩舎 9:30 集合  
(農芸班、自然遊び班は、10時~)

▶ 会員以外の方 参加費 500円/組

田：田んぼ班 畑：畑班 雑：雑木林管理班  
農：農芸班 自：自然遊び班  
生：生態系保全班 植：植物育成班

〒247-0066 鎌倉市山崎 1667 鎌倉中央公園管理事務所内

TEL/FAX 0467-47-1164 木曜を除く 10時~16時

ホームページ: <https://yato-yamasaki.sakura.ne.jp>

Eメールアドレス: [ya-yato@arrow.ocn.ne.jp](mailto:ya-yato@arrow.ocn.ne.jp)

- 次号(会報119号)は、2024年1月に発行予定
- 会費 郵便振替口座番号 00270-6-115647

